

泌尿紀要  
Acta Urol. Jpn.

Vol. 32, No. 11 ACTA UROLOGICA JAPONICA November 1986

# 泌尿器科紀要

第32巻 第11号 1986年11月

<b>第35回 泌尿器科中部連合総会シンポジウム I</b>	
前立腺肥大症の治療の諸問題 司会のことば	栗田 孝…1575
排尿障害の診断の基準と保存的薬物療法	朴 英哲・ほか…1576
前立腺肥大症のホルモン環境と antiandrogen 療法	片山 喬・ほか…1584
手術療法：開放観血手術	小松 洋輔・ほか…1590
前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺切除術	矢野 久雄・ほか…1594
前立腺凍結術の実際とその問題点	安本 亮二・ほか…1599
65歳以上の前立腺肥大症患者における随伴症に対する臨床的検討	白岩紀久男・ほか…1605
前立腺肥大症の治療における手術成績と感染症への対応	置塩 則彦・ほか…1610
<b>膀胱癌症例に対する膀胱粘膜多部位生検に関する研究</b>	
第1編：膀胱粘膜多部位生検における組織学的所見の検討	井川 幹夫…1617
第2編：膀胱粘膜多部位生検の所見と臨床経過	井川 幹夫…1633
第3編：膀胱粘膜多部位生検組織における ABH 抗原の検討	井川 幹夫…1649
第4編：膀胱粘膜多部位生検組織における Thomsen Friedenreich 抗原の検討	井川 幹夫…1663
<b>ヒト前立腺アンドロゲン・レセプター精製に関する研究</b>	
第1編：affinity chromatography を使用した精製法	中原 満…1677
第2編：ヒト前立腺アンドロゲン・レセプターの定性	中原 満…1689
第3編：ヒト前立腺アンドロゲン・レセプターの精製および 精製アンドロゲン・レセプターの定性	中原 満…1701
<b>新鮮 stage D 前立腺癌に対する hormone・cyclophosphamide</b>	
併用療法 第1報	藤井 昭男・ほか…1713
腎盂尿管腫瘍の5例	西澤 和亮・ほか…1719
前立腺に腫瘤を形成した限局性線維性腹膜悪性中皮腫の1例	花井 俊典・置塩 則彦…1725
深陰茎背静脈結紮術により改善したインポテンスの1例	川西 泰夫・ほか…1731
<b>尿管結石に伴う疼痛に対する HSR-902 (チアトン®) の</b>	
臨床的有用性—二重盲検法による比較試験—	内藤 克輔・ほか…1735
淋菌感染症の疫学的・治療学的研究—Norfloxacin による検討—	酒井 茂・ほか…1747
前立腺癌に対する Estramustine phosphate disodium (Estracyt®) の臨床的効果について	西尾 正一・ほか…1763

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,  
Kyoto University, Kyoto Japan 606  
京都大学医学部泌尿器科学教室

## 購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投稿規定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
  2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
    - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
    - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書(ワープロ可)、当用漢字、現代かなづかい、平がなし、清書する。年号は西暦とする。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプ(手書き不可)する。
      - (1) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。  
例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP
      - (2) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。
    - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
    - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %,  $^{\circ}$ C などとする。
    - (5) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などは各々台紙に添付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1 ..., Fig. 2 ..., Table 3 ... などと記載する。説明文は英文が望ましい。原稿右欄外に挿入するべき位置を明示する。写真はトリ
  3. 掲載
    - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
    - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
    - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
  4. 別刷：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。
 

宮崎 重	新谷 浩
吉田 修(主幹)	
- ミングし、図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。  
(例：山田<sup>1,3,7)</sup>、田中<sup>1,3-10)</sup>によると)
- 雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年  
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それによって編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

泌尿器科紀要 第32巻 第11号 1986年11月25日 印刷 1986年11月30日 発行

発行 吉田 修 顧問 加藤 篤 二 発行所 泌尿器科紀要刊行会

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入